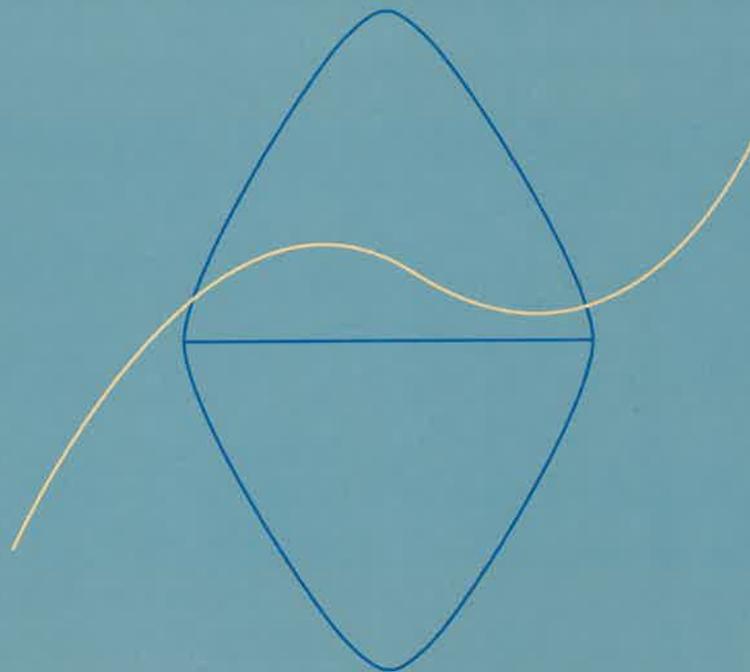


1998年度
くまもと
アートポリス
推 進 賞



K·A·P

KUMAMOTO ARTPOLIS

熊本県

第4回 「くまもとアートポリス推進賞」の選考を終えて

■ 選考委員長 堀内清治

平成10年(1998年)度のアートポリス推進賞は、昨今の社会経済状況から考えて、応募が低調になるのではと案じられたが、多くの推薦があり、県民の意識と意欲の高さがうかがわれた。その中から、平成11年1月17日に行われた最終審査によって、推進賞選賞7点が選ばれた。

本賞はくまもとアートポリス事業を推進し、豊かな地域づくりを図るために、過去5年間に県内で造られた建造物のなかから、アートポリスによる作品と同等、あるいはそれに準じる、優れた作品を表彰するための賞である。95年の第1回の募集には、初めてということもあって質の高い作品が沢山集まったので、推進賞の評価基準は高いレベルに設定された。今回の選考委員会でも選定基準のレベルが改めて議論されたが、やはり、従来の水準は守られることになった。その意味では、推進賞は大変レベルの高い建築賞と言うことが出来る。この賞に25点もの応募があったことは、熊本の建設界の意気を示すものとして、慶賀にたえない。

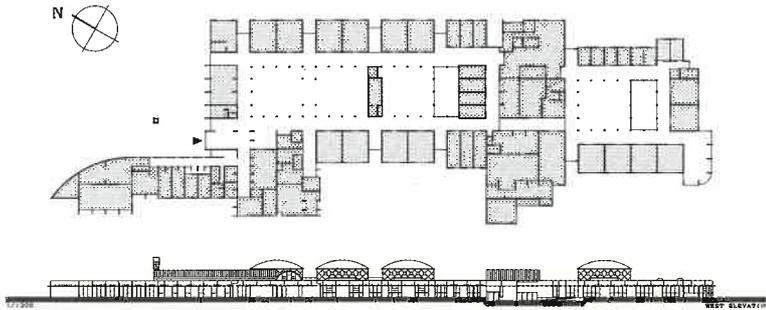
募集要項にうたわれている本賞の選考基準には、優れた設計、施工、維持管理、運用等の評価のポイントが挙げられている。応募作品はこれらさまざまな観点の中から、優れた点を拾い上げて評価されることになる。そればかりではなく、人や環境にやさしい配慮が見られるもの、あるいは地域づくりに寄与しているもの、というポイントも重視されている。これには、その建造物が地域社会に溶け込み、人々から愛されるようにという願いが込められている。

初めに挙げた選考基準は、経験を積んだ建築家にとっては、客観的な評価をすることが比較的容易であり、委員会の意見がまとまりやすい部分である。然し、後に挙げた基準は、取り上げる視点や、どこに重点を置くかによって、評価が分かれやすい部分である。両者が一致することが理想であることは言うまでもないが、実際はなかなか理想通りには行かないこともある。これは第1回の推進賞選考の時以来の問題であった。今回も明快な判断基準なしにこの問題を引きずっているのでは、純粋に「建築賞」という観点から見ると、整理しきれない部分が残ったのは、止むを得ないことであった。



KGAMI-EN

くまもと
アートポリス
推進賞選賞



老人保健施設 かがみ苑

事業主：医療法人社団 司会
 設計者：(有)野中建築事務所
 施工者：松尾建設(株)熊本支店
 所在地：八代郡鏡町大字塩浜11番割235番
 竣工：1997年1月
 用途：老人保健施設
 階数：1階建
 構造：コンクリートブロック造
 敷地面積：11,224m²
 建築面積：3,895m²
 延床面積：3,848m²



建物というものは、やはり実物を見るべきだと思った。最初、提出された資料を見たとき、なぜ食堂やレクリエーションルーム、談話室などが療養室に囲まれ、広々とした外部に対して閉じているのか理解できなかった。しかし実物に足を踏み入れたとき、適度にコントロールされた各領域とほどよいスケール感、心地良い自然光の採り入れ方、質感と温もりのある素材などによって構成されたこの老人保健施設に、従来までの病院やホテルの延長線上にある類似施設とはちがった暖かさを感じた。老人とはこういうもの、というある意味での逆差別のない、清々しい作品であると思った。

早川邦彦

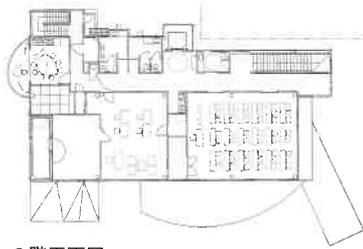


撮影：
株式会社プロフォート

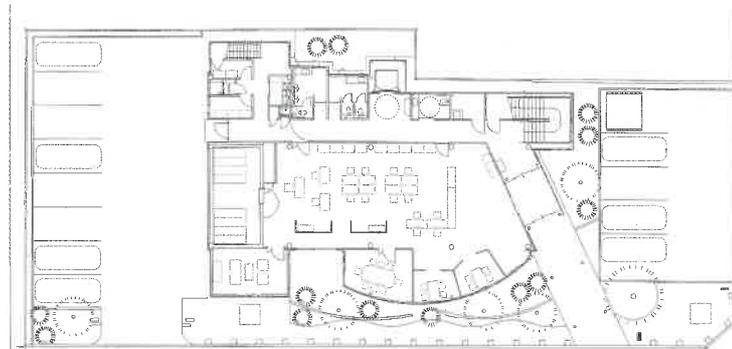


熊本県信用保証協会八代支所

事業主：熊本県信用保証協会
設計者：侑風設計室
施工者：松本建設㈱
所在地：八代市若草町
竣工：1998年2月
用途：事務所
階数：2階建
構造：鉄骨造
敷地面積：1,148m²
建築面積：427m²
延床面積：725m²



2階平面図



1階平面図

周辺環境によくマッチしたさわやかな建築である。凹凸の多い変化に富んだ外観は、歩行者や車行者に軽やかな眼の楽しみを与えている。角地の利点を生かして周辺にほどよい余裕がもたらされ、腰掛けやオブジェの控えめな配置も好ましい。内部は一転し、ひとひねりした応接室を除いてやや平凡なきらいはあるが、業務内容にふさわしい落ち着いた配色の内装や装置で一貫しているところがよい。ただ、集会室のインテリアにはもうひと工夫が欲しかった。心配り豊かな誠実な設計と良心的な施工を評価したい。

桐敷真次郎





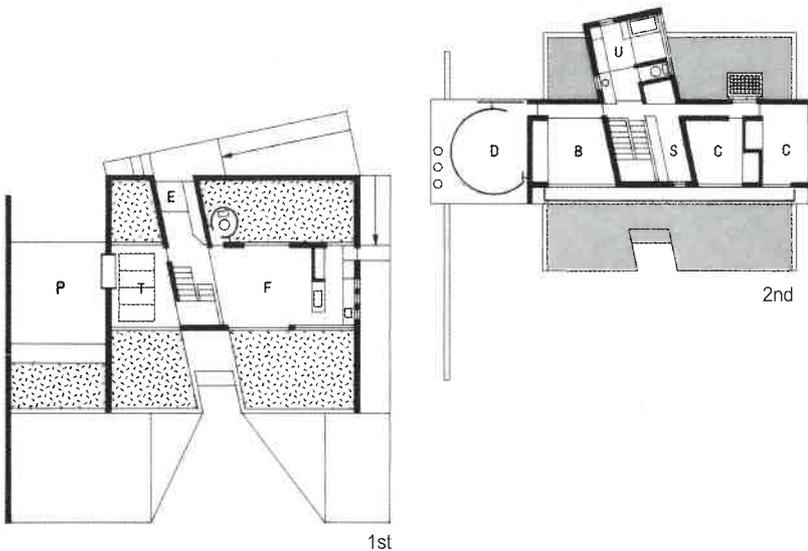
HOUSE:H-M

くまもと
アートポリス
推進賞選賞



HOUSE:H-M

事業主：橋爪博
設計者：設計組織・RAM
施工者：(有)橋爪建設
所在地：球磨郡深田村東
竣工：1998年3月
用途：専用住宅
階数：2階建
構造：鉄筋コンクリート造+鉄骨造
敷地面積：1,560m²
建築面積：113m²
延床面積：187m²



This is an extremely elegant design, which is far more complex than it first appears to be. When seen from the approach road, the house has a simple box-like composition, with few windows. It appears to have an 'enclosed' feeling. There are windows in the garden-side facade, facing towards the trees, but the facade is not fully-glazed. However, internally, the house glows very brightly with daylight, and the house feels very 'open'. The ground floor rooms are, in fact, open on both sides, with windows facing towards the garden and also towards two courtyards which are concealed behind the tall concrete walls on each side of the entrance. Sunlight falls into the centre of the house from a rooflight over the staircase, creating a bright and welcoming entrance hall.

Despite the basic geometric form of the exterior, and the simple plan of the rooms, the interior gives the family many different types of space to enjoy. The character of each room relates to the differently designed exterior spaces on both sides. In this way, although the appearance of the house is very 'modern', it is, in fact, a very 'Japanese-style' house.

Tom Heneghan

これは非常にエレガントなデザインである。そして、一見単純そうに見えるが実に凝ったデザインである。アプローチ道路から見ると、この家は窓がほとんど無い単純な箱の組み合わせである。そのため、閉鎖的な建物のように見える。庭側のファサードには木立に面して窓があるが、ファサード全体がガラス張りとなっているわけではない。しかしながら、家の内部は日光に明るく照らされており、非常に開放的なものを感じられる。実は、一階の各部屋は南北両方向に開かれているのである。各部屋は主庭だけでなく、玄関の両脇の高いコンクリートの塀に隠されたコートヤードにも面した窓を有しているのだ。また、階段の上の天窗からは日差しが家の中央部にふり注いでおり、明るく心地よい玄関ホールを創り出している。外見は簡単な幾何学形式であり、部屋の平面計画も単純なものであるが、内部にはたくさんの異なるタイプの空間があるため、この家に住む人々はそこで楽しく過ごすことができる。また、それぞれの部屋の性格は、南北両方向で面するそれぞれ異なったデザインの外部空間と関係している。このように建物の外観は近代的なものではあるが、実際のところ、この建物は実に日本的な様式の住宅なのである。

トム・ヘネガン





MOYAI-KAN

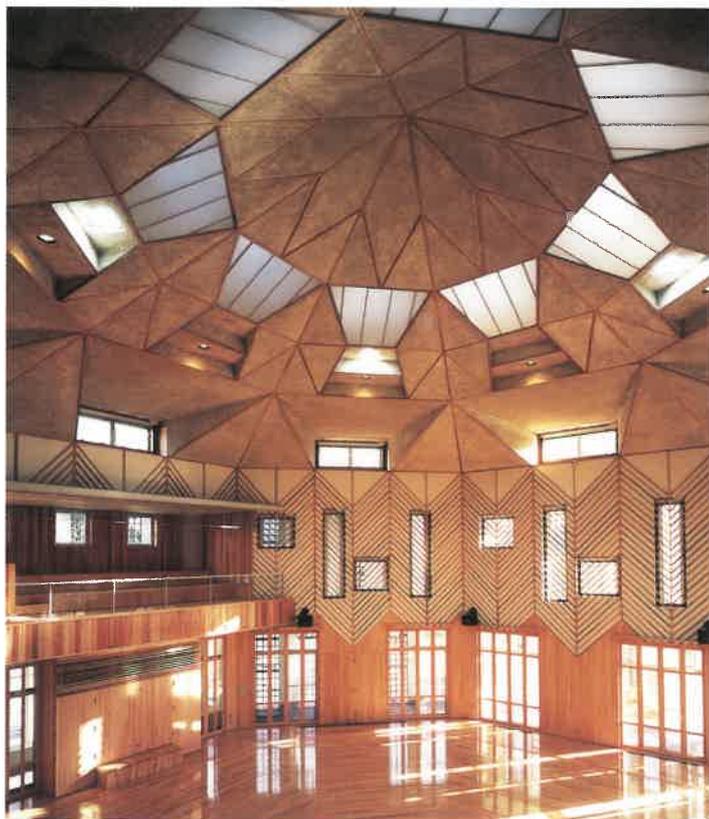
くまもと
アートポリス
推進賞選賞

水俣市保健センター・ 水俣市総合もやい直しセンター

事業主：水俣市・勸水俣市振興公社
設計者：榎高木富士川計画事務所
施工者：沢井・和久田・高木建設工事共同企業体
太陽・不二・溝上電気建設工事共同企業体
三機・共栄・谷口建設工事共同企業体 榎クキタ
所在地：水俣市牧ノ内
竣工：1998年1月
用途：保健・福祉・交流施設
階数：4階建
構造：鉄筋コンクリート造
敷地面積：4,789m²
建築面積：2,387m²
延床面積：5,945m²

水俣川に沿って建築された「もやい館」は、地域交流、保健、福祉を目的とし、水俣市総合もやい直しセンターと水俣市保健センターの二棟で構成されている。その間につくられた通り庭は水俣川をモチーフにし、外観、内装とも木・竹・土をはじめとする自然素材の多用と、配慮された各施設などで、地域意識と計画段階からの市民参加がよよく感じ取れる。目の前の川、背景の山々をも含めた風景のもつ物語性も印象深い。隣接する文化会館とともに、水俣市民の生活文化活動の拠点としての展開に期待したい。

轟多朗



撮影：富重清治



KOGA-TEI

くまもと
アートポリス
推進賞選賞

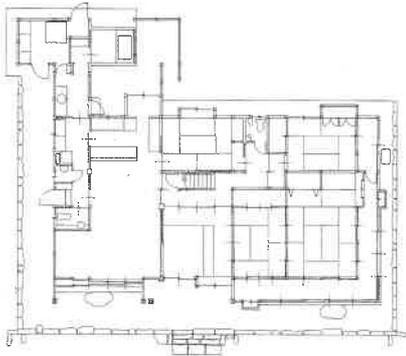


古閑邸

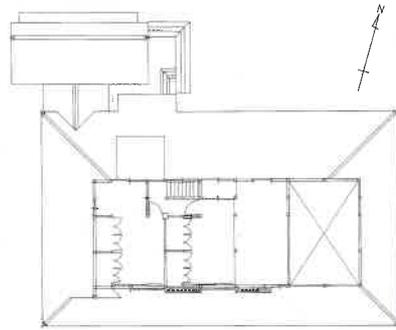
事業主：古閑和季
設計者：IGA建築計画
施工者：(有)鶴田建設
所在地：熊本市長嶺
竣工：1994年5月
用途：専用住宅
階数：2階建
構造：木造
敷地面積：2,193m²
建築面積：208m²
延床面積：259m²

古閑邸は改築された専用住宅である。長く住まわれた農家とその元になっている。施主である古閑さんは、元の農家を壊して現代的な住まいを考えたそうである。しかし、先祖から引き継ぎ、その土地の風景になっている建築を単なるゴミにしたいはなかった。天草の大工の手による建築である。構造部材の殆どは再利用可能であったので、建築家の熱い気持ちもあり、改築に踏み切ったそうである。部材を再利用すると、そこには伝統的なデザインが染み込んでいるから、改築のデザインはそれとの戦いになる。しかし、どんな戦いをして、そこに宿ったデザインの力は強く、圧倒することは難しい。そこで昔からの姿が引き継がれたのである。遺伝子のように永く生き続けるという意味でサステナブルデザインの好例と評価したい。

渡辺定夫



1階平面図



2階平面図





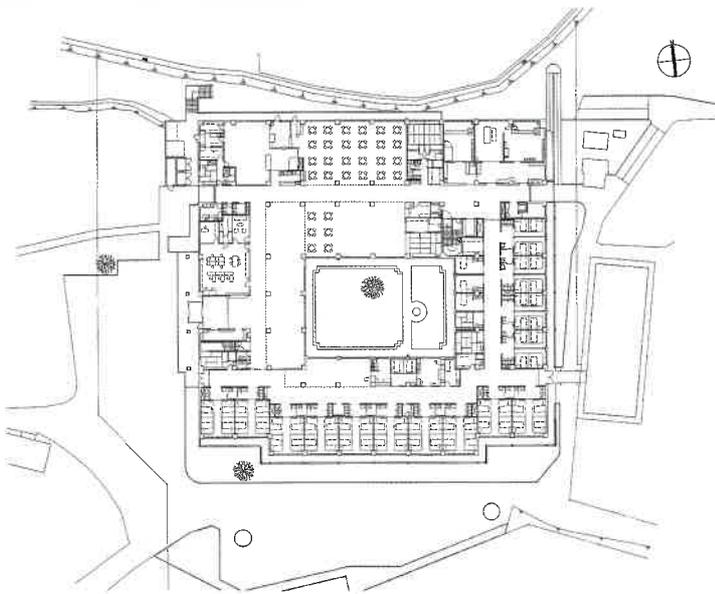
SEIBO-NO-OKA

くまもと
アートポリス
推進賞選賞



聖母の丘

事業主：社会福祉法人 聖母会
設計者：㈱環境開発研究所
施工者：㈱竹中工務店
所在地：熊本市島崎
竣工：1996年10月
用途：特別養護老人ホーム、養護老人ホーム
階数：2階、地下1階
構造：鉄筋コンクリート造
敷地面積：7,573m²
建築面積：3,256m²
延床面積：5,585m²

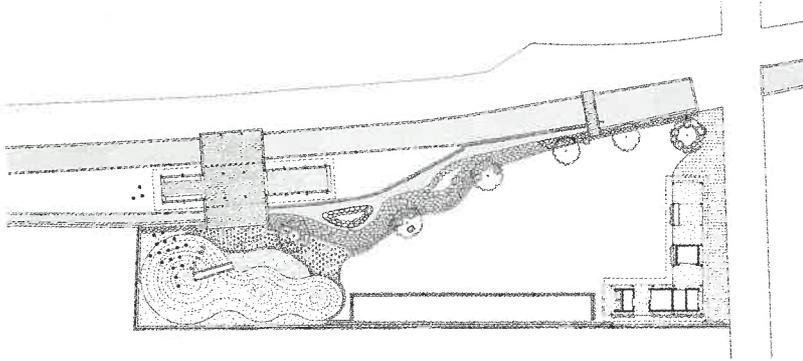


高齢者福祉施設の「生活の場」づくりの実現に、施設歴史を越えて、これまでの緑豊かな環境を生かしつつ、箱型建物の堅い印象を正面玄関の葺きおろし屋根により和らげ、アースカラーの外壁タイルは人に優しく、そして周辺との調和にも一役かっており、温故知新の安らぎさえ表現している。この建物の完成度が高いとすれば、それは住む人の生活の質(クオリティ・オブ・ライフ)を高める実践があってこそである。活き活きた彩りある理想郷への誘いは、「住む人」が常に主役となることであろう。

陣内ヒロミ



撮影：石丸捷一



宮原町下宮はまどん公園

事業主：宮原町
管理 者：宮原町下宮地区
設計 者：(株)計画技術研究所九州事務所 (株)龍環境計画
施工 者：(有)有佐樹花園 橋本住建
所 在 地：八代郡宮原町大字宮原村
竣 工：1998年3月
用 途：公園
敷地面積：1,016m²



狭い。イ草田の一隅といった趣。木造あずま屋こそ造りは丁寧だが、築山は芝生伸び放題、遊具は木柱数本だけ、という粗削りぶりだ。逆にそこが魅力となった。建つまでの過程がいい。巷には“お上”の与えた公園が散在するが、ここは違う。二百人ほどの地区民挙げて知恵を出し合った。そこから人々の手形足形、造形の陶版群も出来た。用水路から引いた親水空間も生まれた。地に足の着いた、文字通り“地区公園”であった。

松下純一郎



○趣旨

熊本県は、環境デザインに対する関心を高め、都市環境並びに建築文化の向上を図るとともに、世界への文化情報発信地「熊本」を目指し、後世に残しうる文化的資産を創造するため、「くまもとアートポリス」事業を推進しております。

この事業の目的を達成するため、コミッションナーが国の内外から推薦した設計者を参加事業主に紹介する事業や、各種イベントの実施、広報事業等を行ってまいりましたが、さらに幅広く県民の皆様の「ご理解を深めていただくため、平成7年から「くまもとアートポリス推進賞」の表彰を実施しています。この賞は、質の高い優れた建造物等を顕彰することにより、県民の環境デザインに対する意識の高揚と、都市環境並びに建築文化の向上を目指し、あわせて豊かな地域づくりを図ることを目的にしております。

第4回くまもと アートポリス推進賞

募集要項

○表彰対象

平成10年3月以前、概ね5年以内に竣工(改造、改修、修復を含む。)した熊本県内の建築物、橋、公園、記念碑等の建造物及びそれらで構成された一群の施設等(くまもとアートポリス参加プロジェクト及び県の施設を除く。)とします。

○選考基準

本賞の選考は建造物等の企画、設計、施工及び施設の運用等に関する総合評価に基づき行います。

評価のポイント

- ①優れたデザインを有しているもの。
- ②新しい技術的提案や工法の改善がなされているもの。
- ③良好な施工が行われているもの。
- ④ひとや環境にやさしい配慮がなされているもの。
- ⑤施設の活用に創意工夫がみられるもの。
- ⑥維持・管理が良好なもの。
- ⑦地域づくりに寄与しているもの。

○賞

賞は「くまもとアートポリス推進賞」、「くまもとアートポリス推進賞選賞」とします。事業主(必要に応じて管理者を含む。)、設計者及び施工者に知事が表彰状を贈ります。また、事業主に銘板を贈ります。

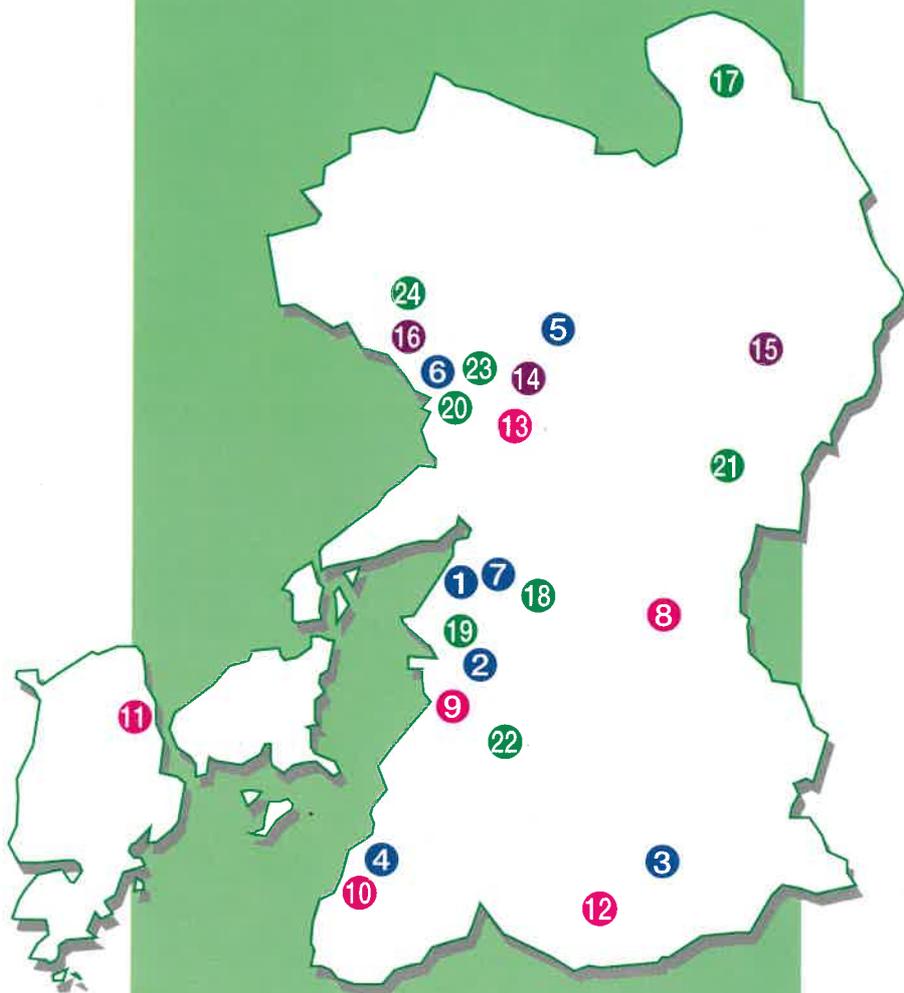
○応募資格

自薦、他薦を問わず、どなたでも応募できます。

選考委員

- 委員長 堀内清治(熊本工業大学教授)
- 委員 大久保太郎(熊本経済同友会副代表幹事)
- 委員 桐敷真次郎(東京都立大学名誉教授)
- 委員 陣内ヒロミ(慈愛園パウラスホーム施設長)
- 委員 轟多朗(熊本県文化協会常務理事)
- 委員 早川邦彦(早川邦彦建築研究室代表)
- 委員 トム・ヘネガン(アーキテクチャーファクトリー代表/工学院大学教授)
- 委員 松下純一郎(熊本日日新聞社文化生活部次長)
- 委員 渡辺定夫(工学院大学教授)(五十音順)

受賞作品 位置図



第4回受賞作品

- ① 老人保健施設かがみ苑
- ② 熊本県信用保証協会八代支所
- ③ HOUSE:H-M
- ④ 水俣市保健センター・水俣市総合もやい直しセンター
- ⑤ 古閑邸
- ⑥ 聖母の丘
- ⑦ 宮原町下宮はまどん公園

第3回受賞作品

- ⑧ 久連子古代の里
- ⑨ 養護老人ホーム八代市立保寿寮
- ⑩ 水俣市宮洗切団地
- ⑪ 丸尾焼工房
- ⑫ 人吉の舎II／平井邸
- ⑬ 浮島周辺水辺公園

第2回受賞作品

- ⑭ 社会福祉法人慈愛園ノーマンホーム
- ⑮ 阿蘇白水温泉「瑠璃」
- ⑯ ふるさとセンターY・BOX

第1回受賞作品

- ⑰ 小国町立西里小学校
- ⑱ 東陽村石匠館
- ⑲ 八代広域行政事務組合消防本部庁舎
- ⑳ 株式会社野田市兵衛商店流通団地営業所
- ㉑ 清和物産館（四季のふるさと）
- ㉒ 荒瀬ダムポートハウス
- ㉓ 出田眼科病院
- ㉔ 尚玄山荘

1995年度 第1回
受賞作品



■小国町立西里小学校〔阿蘇郡小国町〕



■東陽村石匠館〔八代郡東陽村〕



■八代広域行政事務組合消防本部庁舎〔八代市〕



■野田市兵衛商店流通団地営業所〔熊本市〕



■清和物産館(四季のふるさと)〔上益城郡清和村〕



■荒瀬ダムボートハウス〔八代郡坂本村〕



■出田眼科病院〔熊本市〕



■尚玄山荘〔玉名市〕

1996年度 第2回
受賞作品



■恋愛園ノーマンホーム〔熊本市〕



■阿蘇白水温泉「瑠璃」〔阿蘇郡白水村〕



■ふるさとセンター-Y・BOX〔玉名郡横島町〕

1997年度 第3回
受賞作品



■久連子古代の里〔八代郡泉村〕



■八代市立保寿寮〔八代市〕



■水俣市営洗切団地〔水俣市〕



■丸尾焼工房〔本渡市〕



■人吉の舎II／平井邸〔人吉市〕



■浮島周辺水辺公園〔上益城郡嘉島町〕

熊本県
土木部建築課

〒862-8570 熊本市水前寺6-18-1
TEL 096.383.1111(内線6215)
FAX 096.384.9820

■…くまもとアートポリス推進賞
■…くまもとアートポリス推進賞選賞